

小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会

平成 26 年度 第 1 回小水力発電事業化検討チーム会議 会議概要

日時：平成 26 年 6 月 1 日（日）10:00～17:00

場所：午前 小田原市職員福利厚生室など

午後 坊所川（小水力発電所遺構）

出席者（敬称略）

- ・ 講師
中島大（全国小水力利用推進協議会 事務局長）
- ・ 小水力発電事業化検討チーム
志澤昌彦、鈴木大介、辻村百樹、西山敏樹
- ・ 小田原市事務局
エネルギー政策推進課長、エネルギー政策推進課副課長、エネルギー政策推進課係員 2 名
- ・ オブザーバー
岩永修（小田原市 経済部 農政課）
押田健一（小田原市 建設部 道水路整備課）

結果概要

小水力発電候補地である坊所川（小水力発電所遺構）で想定される導水管ルート等の現地調査を行い、事業化の検討を行った。

1. 坊所川について

- 取水地点跡～沈砂池跡～発電所跡の経路を基に、導水ルートの現地調査を実施したが、当時の経路は山深く、可能な範囲での確認となった。
- 坊所川の流量を踏まえると、発電には実窪沢の水量の 7～8 割を取水する必要がある。
- 当時は、導水管のほか、トンネルを建設して水を通していたようである。
- トンネルを建設すると工事費がかさむので等高線に沿って導水管を配管する手法が現実的である。
- 下道の整備で工事費がかかっている場合は、事業採算性を確保することはできず、事業化は見込めない。
- 事業化を実現するためには、ボランティアでハイキングコースを整備し、そこに導水管を設置するなどの対応が必要となる。